



出雲崎中学校だより

＜第1号＞

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和4年4月28日発行

「豊かな心 たくましい実践」～令和4年度がスタートしました～

令和4年度、出雲崎中学校の教育活動が始まりました。4月7日（木）に入学式を挙行し、25名の新入生を迎えました。今年度は、1年生25名、2年生21名、3年生29名、全校生徒75名でのスタートです。1年生は徐々に新しい生活に慣れ、毎日元気よく活動しています。かわいい後輩が加わり、2・3年生も生徒会活動や部活動等で積極的にリーダーシップを発揮しています。教育目標「豊かな心 たくましい実践」の実現に向けて、教職員一同、一丸となって頑張ります。今年度も、出雲崎中学校の教育活動に、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

入学式 式辞（一部抜粋）

校長:Sa

25名の新入生の皆さん、出雲崎中学校への入学おめでとうございます。新たなスタートにあたり、皆さんの心に留めておいてほしいことを一つお話します。それは、「『挑戦の心』を奮い立たせる」ということです。現在、アメリカのメジャーリーグで活躍している日本人選手の一人に大谷翔平選手がいます。大谷選手は、高等学校卒業後に日本ハムファイターズからドラフト1位指名を受けました。そして、日本のプロ野球界で、それまで誰も成功したことのない「二刀流」に挑みました。その理由を聞かれた時、「プロのピッチャーとバッターになるという夢のどちらかを諦めることができなかったから」と言っています。また、大谷選手は5年後にアメリカのメジャーリーグに挑戦し、そこでも「二刀流」の夢を追いつづけました。昨年、投手と打者両方の活躍が評価され、投票した全員から1位票を集めて、大リーグのMVPに選ばれました。その功績を讃え、日本政府から「国民栄誉賞」の受賞を打診されたのですが、大谷選手は「まだ早いので今回は辞退させていただきたい」と返答したそうです。あれだけの結果を残しながら、自分はまだまだ発展途上であるとして、更なる高みに向けて精進を重ねていこうとするあくなき向上心、「挑戦の心」に、ただただ頭が下がります。皆さんもよく知っている話かと思いますが、大谷選手は、高校1年生の時、監督さんの教えによって「マンダラチャート」と呼ばれる目標達成シートを作成しました。強く大きな夢を中心に置き、81マスに細分化した目標を書き込んだものです。大谷選手が中心に書いた夢は、「プロ野球8球団からのドラフト1位指名」。次に、それを叶えるために必要な要素を8つ記入しました。それは、「体づくり、コントロール、キレ、メンタル、スピード160km、変化球、人間性、運」というものでした。速い球を投げるため、打球を遠くへ飛ばすために、体幹を強化したり、体重を増やしたり、ステップを改善したりといった項目はわかりやすいのですが、大谷選手は「8球団からのドラフト1位」を達成するための要素として、「運を引き寄せる」ことを目標に掲げました。そして、その具体策として、「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「あいさつ」「審判さんへの態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に扱う」といった要素を挙げています。大谷選手は、「ゴミ拾い」に関して、あるインタビューの中で、「ゴミが落ちていた時、拾わずに通り過ぎようとする、ゴミの方から『お前、それでいいの？』と呼ばれているような気がする。」と答えたそうです。また、「他人がポイッと捨てた運を拾っているんです。」とも言っています。彼はまた、大リーグで活躍する今でも、この「ゴミ拾い」を実践しているそうです。試合中はもちろん、練習中でも、ブルペンでも、グラウンドにゴミが落ちていたら躊躇することなく拾って、ユニフォームの後ろのポケットに入れます。そんな大谷選手の姿を、チームメイトやマスコミ関係者、多くのファンが認め、リスペクトし、誰からも応援される選手として、注目を集めています。大谷選手の生き方から、「挑戦は、自分の身近なところから始まること」、また「具体的な目標を掲げて実践すること」、さらに「常に自分を振り返りながら、粘り強く続けること」の大切さを改めて感じるすることができます。

残念ながら、未だに新型コロナウイルスの猛威が止まりません。私たちはこれからも、様々な制約を余儀なくされ、辛い思い、悔しい思いをすることがあるかもしれません。また、学習や部活動等に励む中で、様々な壁にぶつかることもあるかと思いますが、しかし、そんな時こそ、大谷選手のように「大きな夢や目標」をもち、「どこまでも挑戦し続けることの大切さ」を信じてともに、目の前の身近な課題に、精一杯取り組んでください。そして、途中で諦めることなく、地道に努力を積み重ねてください。そこで得た力は、自分自身にとってかけがえのない財産になるはずですが、2・3年生の先輩は、「私たち出中生を見てください」という合い言葉のもと、皆さんに必ず良いお手本を示してくれます。その姿を見習い、また仲間とともに励まし合って、「挑戦の心」を奮い立たせてください。そして、自分自身に大きな自信をつけてください。そうすれば、皆さんも、「私たち出中生を見てください」と堂々と言える一人一人に成長することができます。



今年度の教育活動について

〔桜の下でジャンプ（2年生男子）〕

◇「定期テスト」は年4回の実施とします

出雲崎中学校は、昨年度まで定期テストを年5回（1学期中間、1学期末、2学期中間、2学期末、3学期末）実施していましたが、今年度より年4回（6月、9月、11月、2月）の実施とします。中体連主催大会等の対外的な行事とのバランスを考慮するとともに、一年を通じてテストの出題範囲に偏りがないようにするための措置です。定期テストの回数は減りますが、昨年度まで実施していた「基礎テスト」の実施方法を変更し、各教科の授業の中で単元毎に定着度を確認する機会（テスト等）を設定していくことで、これまで以上に丁寧な支援を行っていきます。なお、各教科の評定は、これまで通り学期毎に年3回（保健体育以外の技能教科は年2回）算出し、通知表でお知らせします。



◇毎週水曜日を「部活動休止日」とします

授業日は、原則として6限まで授業を行っていますが、週1回5限までの日を設定し、部活動休止日（学級活動・生徒会活動等優先日）としています。昨年度は月曜日を部活動休止日としていましたが、今年度より水曜日を部活動休止日とします。土・日曜日に部活動がない場合、3日連続休止日、4日連続活動日となるため、活動日と休止日のバランスを考慮して設定いたしました。従って、今年度は水曜日の下校時刻が早くなります。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。



◇「出雲崎中学校創立50周年記念事業」を実施します

〔級長・副級長任命式〕

現在の出雲崎中学校は、昭和47年に旧西越中学校、旧出雲崎中学校を名目統合して発足しました。令和3年度に創立50年目の年を迎え、この4月で創立以来50年が経過したことになります。昨年度、記念事業を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑み、令和3年度は記念事業の実施を見送り、令和4年度に延期する決断をいたしました。今後も、感染状況等を考慮しながらの準備になりますが、現在の予定としては、令和4年10月22日（土）に記念式典・祝賀行事等を実施する方向で、実行委員会を中心に準備を進めていきます。感染症対策を徹底した上で、発表や制作等、生徒が活躍する場面を少しでも多く設定できるよう工夫していきたいと考えております。関係者全員で創立50周年を祝うとともに、生徒一人一人が出雲崎中学校の歴史を振り返り、自分やふるさとの未来を展望する絶好の機会と捉え、今年度一年間の教育活動を進めていきます。



令和4年度出雲崎中学校の職員です

この度の異動で、3名の職員が出雲崎中学校に転入しました。28名で力を合わせ、教育活動の充実を図り、生徒の成長を支えていきます。精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

※氏名の欄に(新)が付いている職員は、今年度新たに着任した職員です。

担 当	氏 名	担 当	氏 名
校 長	S a	さわらび学級担任	Y o
教 頭	H a	養護教諭	K o
教務主任、1学年副任	O k	栄養教諭	M a
1学年主任、研究主任	K u	主 事	O o (新)
1学年担任	K a (新)	施設管理員	U c
1学年・さわらび学級副任	T a	調 理 員	H i
2学年主任、生徒指導主事	W a (新)	調 理 員	Y a
2学年担任	S u	非常勤講師(家庭)	I w
2学年副任	S a	非常勤講師(美術)	K a
2学年・さわらび学級副任	A d	情報教育支援員	Y a
3学年主任、進路指導主事	I t	心の教育相談員	Y a
3学年担任	K a	スクールカウンセラー	I n
3学年副任	M a	教育相談員	M a
さわらび学級主任	K u	A L T	D a